

資料 4

関係者への意見聴取の方法について（案）

1 目的

これからの高校教育のあり方（平成30年公表の『高校改革～夢に挑戦する学び～「実施方針」』及び『これからの地域の高等学校に期待すること』等に関する意見も含む）に関して、関係者から意見聴取を行い、旧第11通学区高等学校教育懇話会の審議における基礎資料とする。

2 意見聴取の対象及び方法

(1)対面・オンラインによる質的調査

対象者	内容	方法	依頼主
高校生	「高校生による高校のあり方フォーラム」の開催（オンライン）	※	県教委

コーディネーター（進行）は座長。各校からの代表生徒は1～2名程度を予定。

※（対象）旧第11通学区の全公立高等学校（計21校）の生徒。各校1～2名程度に依頼。

（方法）県教委が校長会等を通じて日程を調整し、各高校に依頼。事前に、実施方針など関係資料を参加高校生に配布し、論点を整理しながら開催する。

座長・各教育長（可能な方）・各高等学校・県教委によるオンライン実施。

(2)アンケートによる量的調査

対象者	内容等	依頼主	方法	方法
中学生	公立中学校2・3年生の全生徒	市村教委	GoogleForms	決定した内容に基づき依頼主が学校長に依頼
高校生	公私立高等学校の全生徒	県教委	無記名	
保護者	公立小中PTA役員	市村教委	GoogleForms と紙併用 記名	決定した内容に基づき依頼主が学校長に依頼、学校長は対象者に依頼。回答者が直接県に回答を送付
	高校PTA役員	県教委		
同窓会	高校同窓会役員			

（内容）○中学生：高校選択、期待する高校像について

○高校生：高校満足度、高校選択理由、実施方針について

○保護者・同窓会：実施方針、期待する高校像について（各校、各団体2～5名程度）

3 実施期間

令和3年4月12日（月）～5月7日（金）（GoogleFormsは5月14日（金）まで回答可能）

4 集計及び資料作成

事務局（県教育委員会）

5 結果の公表

懇話会において結果の概要を公表する。なお、座長・副座長の判断により公表を差し控える場合・箇所がある（学校や特定の個人を著しく非難中傷するものなど）。

◆中学生2・3年生用（学校名の記載しないが、学校ごとにURLを設定）

	選択肢	設問の意図
1 あなたの学年を教えてください。		
	○中学2年 ○中学3年	学年による差異の状況を明確にするため。
2 あなたの性別を教えてください。		
	○男性 ○女性	分析上の性差を確認して基礎資料とするため。
3 現在、あなたが進学したいと思う高校は、家から通学できる範囲にありますか。		
	○ある ○ない ○わからない	地域の高校に対する理解度（ある・ない）と期待度（ある）を測る。
4 3で「ある」と回答した方が答えてください。		
(1) その高校は、県立（公立）ですか、私立ですか。	○県立（公立） ○私立 ○その他	進学したい高校を具体的に聞き取ることによって、この地区の中学生が期待する「高校像」を考察する。
(2) その高校の場所は、どこにありますか。	○旧第11通学区内（松本市、塩尻市、安曇野市、東筑摩郡） ○旧第11通学区外の県内及び県外	
(3) その高校の課程は、わかりますか。	○全日制 ○定時制 ○通信制 ○わからない	
(4) その高校の学科は、わかりますか。	○普通科系（普通科、自然・国際探究科、学究科、国際観光科、理数科など） ○専門学科系（農業科、工業科、商業科、家庭科、音楽科など） ○総合学科 ○わからない	
(5) その高校に進学したい理由は、何ですか。もっとも該当するものを一つチェックしてください。	○その高校には、学びたい学科があるため ○その高校の校風を気に入っているため ○その高校に進学することが、卒業後の進路選択に役立つため ○希望する部活があるため ○その高校が、最も家から通学しやすいため ○その他	
5 3で「ない」と回答した方が答えてください。3で「ない」と回答した理由として当てはまるものを、次の中から一つだけ選んでください。		
	○学びたい学科（こと）がある高校が、家から通学できる範囲にないため。○気に入っている校風の高校が、家から通学できる範囲にないため。○高校卒業後の進路選択に役立つ高校が、家から通学できる範囲にないため。○希望する部活を行っている高校が、家から通える範囲にないから。○その他（どれにも当てはまらない）	「ない」理由から、中学生が期待する高校像を考察する。
6 高校を選択するときに、あなたが大切にしたいと思うキーワードを、3つ以内で選んでください。		
	○課程の種類（全日・定時・通信）○授業の内容（カリキュラム）○高校卒業後の進路 ○学校の校風・雰囲気 ○自治・生徒会活動 ○校則 ○制服 ○部活動 ○通学時間・距離 ○友人関係 ○先生 ○ICT環境 ○少人数教育 ○探究的な学び ○寮や下宿生活 ○フィールドワーク ○地域等との連携 ○SDGsなどの社会課題への取組 ○施設・設備 ○立地や環境 ○サポート体制 ○学費や費用 ○その他（具体的に記入）	現代の中学生が高校に求めている「現実的な期待」について考察する。また、高校生の調査と比較する。

◆高校生用（全学年共通）（学校名は記載しないが、学校ごとにURLを設定）

	選択肢	設問の意図
1 あなたの学年を教えてください。		
	<input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 3年 <input type="radio"/> 4年	学年による差異の状況を明確にするため。
2 あなたの性別を教えてください。		
	<input type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性	分析上の性差を確認して基礎資料とするため。
3 現在の高校生活の満足度を次のAからEで教えてください。		
	<input type="radio"/> A（とても満足） <input type="radio"/> B（満足） <input type="radio"/> C（普通） <input type="radio"/> D（不満） <input type="radio"/> E（とても不満）	地域の高校生の「充実感」「自己肯定感」「満足感」の度合いを測ることにより、高校生の理想の学校像を考察する。
4 あなたの満足度を左右している要因のうち大きなものを3つ以内で選んでください。		
	<input type="checkbox"/> 課程の種類（全日・定時・通信） <input type="checkbox"/> 授業の内容（カリキュラム） <input type="checkbox"/> 高校卒業後の進路 <input type="checkbox"/> 学校の校風・雰囲気 <input type="checkbox"/> クラスの雰囲気 <input type="checkbox"/> 自治・生徒会活動 <input type="checkbox"/> 校則 <input type="checkbox"/> 制服 <input type="checkbox"/> 部活動 <input type="checkbox"/> 通学時間・距離 <input type="checkbox"/> 友人関係 <input type="checkbox"/> 先生 <input type="checkbox"/> ICT環境 <input type="checkbox"/> 少人数教育 <input type="checkbox"/> 探究的な学び <input type="checkbox"/> 寮や下宿生活 <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 地域等との連携 <input type="checkbox"/> SDGsなどの社会課題への取組 <input type="checkbox"/> 施設・設備 <input type="checkbox"/> 立地や環境 <input type="checkbox"/> 家庭のサポート <input type="checkbox"/> 学校の（メンタル）サポート <input type="checkbox"/> 学校の経済的サポート <input type="checkbox"/> 学費や費用 <input type="checkbox"/> その他（具体的に記入）	充実した高校生活を送るためのファクターを探り、高校生が期待する高校像を考察する。また、中学生の調査と比較する。
5 現在通っている高校を選択したのは、なぜですか。当てはまるものすべてをチェックしてください。		
	<input type="checkbox"/> 自宅から近いから、通いやすいから <input type="checkbox"/> 特色ある取組を行っているなど授業内容に興味があったから <input type="checkbox"/> 他校よりも入学の難易度が高いから <input type="checkbox"/> 学校の雰囲気がよかったから <input type="checkbox"/> 中学校の先生にすすめられたから <input type="checkbox"/> 塾、家庭教師の先生にすすめられたから <input type="checkbox"/> 親、親戚にすすめられたから <input type="checkbox"/> 授業について行けそうだったから <input type="checkbox"/> 将来就きたい仕事と関連しているから <input type="checkbox"/> 卒業後の大学等への進学に有利だから <input type="checkbox"/> 卒業後の就職に有利だから <input type="checkbox"/> 友人が選択していたから <input type="checkbox"/> 合格できそうだったから <input type="checkbox"/> 入部したい部活動があったから <input type="checkbox"/> その他	第16回21世紀出生児縦断調査【平成13年出生児】平成29年(2017年)1月18日調査(本人用)の「問16⑦」と同じ設問により、調査結果の比較からこの地区の高校生の特長を読み取る。

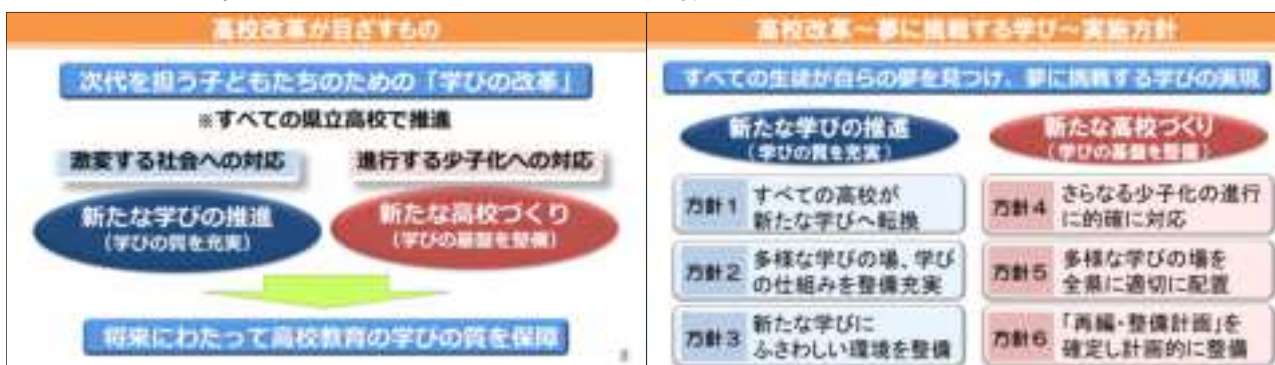
旧第11通学区高等学校教育懇話会によるアンケートのお願い(案)

旧第11通学区高等学校教育懇話会
座長 荒井 英治郎
(信州大学教職支援センター准教授)

長野県教育委員会では、①激変する社会にあって、変化に翻弄されず、主体的に社会と関わり、仲間と協働して社会を創っていく力を学びの中で培う『新たな学びの推進』が必要とされていること、また、②旧第11通学区(松本市、塩尻市、安曇野市、東筑摩郡)の中学校卒業生数は2017年に4,226人、2035年には2,952人と減少が予想されており、少子化に対応した『新たな高校づくり』が必要とされているという課題認識から、平成30年9月に「高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針」(以下、実施方針)を決定し、公表しました。

本懇話会は、旧第11通学区の将来を見据えた高校教育のあり方について検討するために設置され、市村長、市村教育長、産業界、PTAや校長会の代表などにより組織されています。私たちは、この地区の今後の高校教育のあり方に対する皆様のお考えをできるだけ幅広くお聞きし、懇話会の議論の基礎資料とさせていただくために、アンケートを実施することにいたしました。裏面のアンケートの回答にご協力ください。

■「高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針」の概要



「実施方針」全文 <https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/koko/gakko/saihen/joho/manabinokaikaku.html>

■「高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針」旧第11通学区の「再編計画の方向」

- ◇「学校数が多く校種も多様で私立高校も多い。これらを活かし、今後、少子化が進行する中で、**地域の中学生の期待に応える学びの場を整備していく必要がある**。また、少子化の進行を考えると、**再編の実施を前提に地域の高校の将来像を考えていく必要がある**。」としています。
- ◇**普通校**については、「私立高校との関連も視野に入れつつ、松本、塩尻、安曇野市に適正数を考慮しながら**規模の大きさを活かした都市部存立普通校^{※1}**を配置するとともに、学びの場の保障の観点も踏まえながら、**中山間地存立校^{※1}**を配置することが考えられる」、としています。
- ◇**専門学科**については、「小規模化が想定される中で、**専門教育の活力を維持充実**させていく必要がある。」また、**総合技術高校^{※2}**の設置等、**活力ある専門教育の学びの場を配置**していくため、**旧第12通学区の専門高校の将来像の検討と併せて、広域的・多角的に検討**していくことが考えられる、としています。

※1 「都市部存立校」と「中山間地存立校」について

校名に続く()内の数字はR3年度の募集学級数

	都市部存立普通校	都市部存立専門校	中山間地存立校
望ましい募集定員	6クラス以上	3クラス以上	3クラス以上
再編に関する基準	在籍数520以下が2年連続続いた場合 ①他校との統合、②募集停止	在籍数280以下が2年連続続いた場合 ①他校との統合、②募集停止	在籍120人以下等の状態が2年連続した場合①他校との統合、②地域キャンパス化、③募集停止等
旧第11通学区	塩尻志学館(5) 田川(5) 松本県ヶ丘(8) 松本美須ヶ丘(7) 松本深志(8) 松本蟻ヶ崎(7) 豊科(5)	松本工業(5) 南安曇農業(3) 穂高商業(3)	梓川(3) 明科(3)
旧第12通学区			池田工業(3) 大町岳陽(5) 白馬(2)

※2 「総合技術高校」とは、農業科、工業科、商業科などが複数併置され、各学科共通履修科目の配置や他学科の科目を履修できるなど、各学科が連携した学びを可能とする学校を指します。県内の総合技術高校としては、「須坂創成高校(農・工・商)」、「佐久平総合技術高校(農・工)」、「飯田OIDE長姫高校(工・商)」があります。

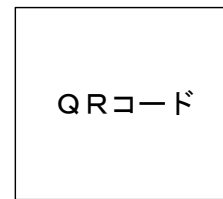


F A X 0 2 6 - 2 3 5 - 7 4 8 8

(裏)

■ 次のいずれかの方法でご回答をお願いします。

- ・ Web での回答：URL 「」
(携帯でQRコードを読み取って回答できます。)
- ・ 郵 送 〒380-8570(住所記載不要)高校教育課、高校再編推進室 宛
- ・ F A X 0 2 6 - 2 3 5 - 7 4 8 8
- ・ E-mail koko-kaikaku@pref.nagano.lg.jp
(お名前を含む、下記の内容がわかるようにメール文に記載してください。)



■ お名前のないものは、お受け出来かねますのでご了承ください。

===== 次にお答えください =====

該当するものにチェック☑してください。

- 1 お名前を書き、
お立場をチェック ☑ してください。

お名前

P T A 役員 (小学校 中学校 高校) 高校同窓会役員

- 2 旧第 11 通学区の高等学校に期待することを3つ以内でチェック ☑ してください。

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得 | <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・創造力」等の伸長 |
| <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力」の伸長 | <input type="checkbox"/> 「探究的な学び」の推進 |
| <input type="checkbox"/> 地域と協働した学びの推進 | <input type="checkbox"/> 特別活動の活性化 |
| <input type="checkbox"/> 部活動の活性化 | <input type="checkbox"/> キャリア教育の充実 |
| <input type="checkbox"/> 人間性の伸長 | <input type="checkbox"/> 友情の育み |
| <input type="checkbox"/> 施設設備の整備 | <input type="checkbox"/> 教員の資質向上 |
| <input type="checkbox"/> その他 (具体的に記入してください) | |

【】

- 3 表面の「高校改革 実施方針～夢に挑戦する学び～」旧第 11 通学区の「再編計画の方向」をお読みいただき、旧第 11 通学区の中学生の期待に応える高校教育のあり方を考えるために、当懇話会で取り上げて欲しい事柄がありましたらお書きください。

- 4 その他、旧第 11 通学区におけるこれからの高校教育のあり方 (高校配置を含む) についてのお考えを自由に記述してください。

ご協力ありがとうございました。